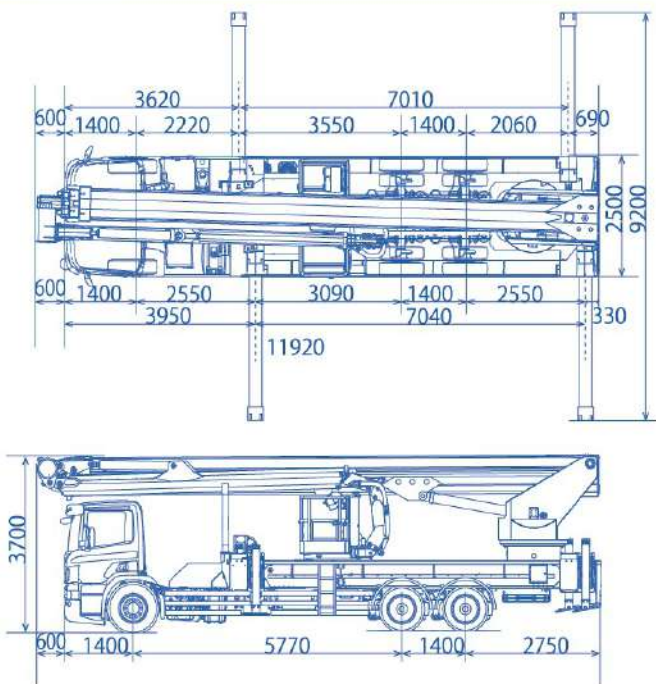


■寸法図



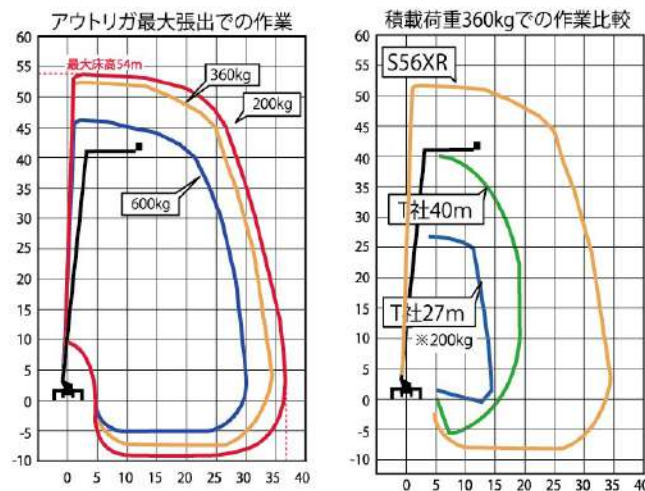
■仕様

型式: ブロント・スカイリフトS56XR
(拡張デッキ仕様)

積載荷重	600kg
最大地上高	54.0m
最大作業半径	37.5m
降下度	地表下9m
アップアンドオーバー	16m
最大ジャッキ反力	180kn ※ (18,354kgF)
車両総重量	25,000kg未満
その他	高所作業車構造規格に適合

※最大ジャッキ反力は計算上のものです。参考値として取り扱いください。

■作業範囲図

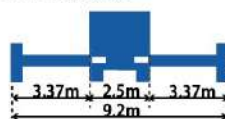


※本図はあくまで参考図としてご利用ください。

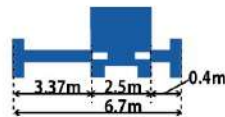
■アウトリガ張出幅

※アウトリガは無段階で張り出します。

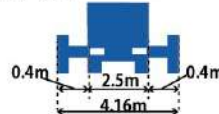
①左右最大張出



②左側(作業方向)のみ最大張出



③最小張出



フジ建機リース株式会社 【ホームページ: www.fj-kenki.co.jp】

大阪・営業本部: 千590-0901 大阪府堺市堺区築港八幡町1番地の23 TEL: 072-229-1150
さいたま営業所: 千339-0031 埼玉県さいたま市岩槻区飯塚1112-3 TEL: 050-3529-5478

詳しくはこちら



より高く、より遠くへ

超大型高所作業車

ブロント・スカイリフト
S56XR

BRONTO SKYLIFT

IPAE
Member

他社の追随を許さない作業性能

ブント・スカイリフト S56XR

2014年、S56XRをフィンランドから日本初輸入した弊社は、どこよりもS56XRを知る会社。

作業スピード、トラブル対応など、どこにも負けない自信があります。熟練のオペレータが、皆様の現場をサポートします。ぜひ、フジ建機リースへお任せください。

最大積載荷重 600kg・拡張デッキ

最大積載荷重はなんと600kg。しかも最大作業半径は30mを超え、最大床高も54mを超えます。デッキは最大3.7mまで広がる拡張デッキ。作業の幅が段違いに広がります。



● デッキサイズ

幅	奥行き	高さ
2.35m	1.05m	1.145m
拡張時 (3.7m)		

最大作業半径 37.5m

作業半径は国内最大を誇る37.5m。しかも、ブームを真横に伸ばせるほど作業エリアは広大。川の対岸から作業するなど、これまでの高所作業車では考えられないアプローチが可能となりました。

アウトリガ無段階張出

S56XRは無段階でアウトリガを張り出して作業可。設置場所の広さに合わせて広げられたアウトリガの幅から、作業可能エリアをコンピュータが自動計算。状況に応じて最大のパフォーマンスを発揮できます。



最大床高 54m

最大床高は54mと国内最大クラス。高さだけではなく、高い位置での作業半径も魅力。床高40m地点で30mを超える作業半径を達成(200kg積載時)。使える高さが魅力です。

アップアンドオーバー

16m

製品比較

項目/型式	最大作業台高	最大積載量	高所作業車構造規格	高速自動車道	特殊車両通行許可	通行条件	保険	その他
ブントスカイリフト S56XR	54m	600kg	◎ 高所作業車	◎ 新規格車・自由に走行可	◎ 新規格車※1	なし	◎ 搭乗者傷害保険に加入	
Skybox SS-150 (クレーン+作業台)	取り付けるクレーン車による	作業台のアタッチメントの能力による (SS-150は300kg)	× クレーンの用途外使用 クレーン則(安全規則第2条と第73条)	× 通行不可	× 許可申請が必要	取り付けるクレーン車による※5	通常の搭乗者傷害保険には加入不可	現場で組立・解体、取付状態で走行は不可

※1 新規格車は、高速道路や重さ指定道路を自由に走行可。長距離トラックの大部分は新規格車です。その他道路は許可申請が必要で、申請が降りるまではおよそ1か月から2か月程度必要です。重さ指定道路については、国土交通省のホームページにて確認することが出来ます。

※2 徐行、進行禁止及び当該車両の前後に誘導車を配置することを条件とする。または、通行できる時間制限がある。